

2024 年 6 月 2 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

食道 ESD に関する多施設後ろ向き研究

2. 研究責任者 海南病院消化器内科 國井 伸

3. 研究の概要

消化管の腫瘍性病変に対する内視鏡治療として、内視鏡的粘膜下層剥離術（**Endoscopic Submucosal Dissection : ESD**）が広く行われている。ESD では安全性を確保しながら効率のよいスコープやデバイスの操作を行う必要があり、内視鏡医の技量を要することから、より安全に処置が行えるよう食道 ESD の治療成績と安全性に使用デバイスが与える影響ならびに **non-expert** に対する最適なデバイスを明らかにすることを目的に研究を実施する。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2007 年 9 月 1 日～2030 年 3 月 31 日に食道 ESD を実施した患者さん

②使用する試料等

カルテ情報：年齢、性別、既往歴、抗血栓薬の内服の有無、飲酒歴、喫煙歴、肉眼型、病変部位、病変の主座、周在性、術前深達度診断、術前精査内視鏡施行日、内視鏡画像、内視鏡画像所見、超音波内視鏡画像、超音波内視鏡画像所見、CT 画像、CT 画像所見、ESD 施行日、腫瘍径、切除径、処置時間、術中及び術後の偶発症（出血、穿孔、筋層損傷、感染、狭窄など）、最終病理診断、術後経過、ESD 後追加治療、遺残再発及び異時性再発の有無、狭窄予防処置、バルーン拡張の有無と総施行回数、使用バルーン径、術者の経験年数、術者の経験症例数、使用スコープ、使用デバイス、補助デバイス（トラクションデバイス）使用の有無、使用高周波手術装置、鎮静法

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 消化器内科 國井 伸

電話：0567-65-2511（代表）